

単元名 8 自分を見つめる ー漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6
配当時間 1時間
単元の目標 (1) 漢字の成り立ちについて説明を聞き、その成り立ちや意味、読み方を理解することができる。
 (3) 漢字の成り立ちに関心を持ち、漢和辞典などで調べようとする。

標準的な展開例

10210307_001

【準備等】 漢和辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
1 漢字の成り立ちについて知る。 ○「山」という漢字の成り立ちを考える。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★漢字の成り立ちを知ろう。 ○「山」という漢字の成り立ちを知る。 ○4種の漢字の分類を理解する。 ○「練習問題」「漢字に親しもう6」(p. 228～p. 229)に取り組む。	・画用紙で提示するとよい。 ・表意文字と表音文字との違いについて説明し漢字の特徴やよさを理解させる。 ・山の形をかたどって作られたことを伝える。 ・漢字の成り立ちには、「象形」「指事」「会意」「形声」の4種があることを押さえる。 ・国字についても触れる。 【評】漢字の成り立ちを理解する活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・漢和辞典を活用する。 ・音符と意符について説明する。 【評】漢字の成り立ちや意味、読み方を知る活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【備 考】

表現に込められた書き手などの思いやものの見方を理解することは、大事なことである。表現の工夫とは、単なる飾りではない。表現を工夫することによって、いつそう的確に描き出せたり、より効果的に伝わるようになったりした書き手や話し手の思いやものの見方などから、表現効果なども踏まえながら自分の考えをもてるようにさせたい。

また、「少年の日の思い出」は、ものの見方、感じ方、生き方の違いについて、じっくり考えさせたい作品である。これは道徳のCー(11)正義、公正・公平にあたり、これを機会に差別や偏見のないものの見方をしようとする気持ちを高めたい。